

瓦会小学校・恋瀬小学校 統合再編に係る保護者説明会 要旨

日時 令和3年10月14日（木） 午後7時から午後8時

場所 恋瀬小学校 体育館

執行部 児島教育長，豊崎部長，吉澤次長，朝賀参事，小沼教育総務課長，
須加野指導室長，雨貝課長補佐，佐藤主幹

出席者 23名

次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明

資料

- ・石岡市立小中学校統合再編計画
- ・小中学校年度別将来推計（別紙）
- ・石岡市学校施設個別施設計画
- ・公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き
- ・石岡市公共施設等総合管理計画概要版

5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

次第に沿って、4. 統合再編計画に係る説明まで行う

(参加者)

瓦会小学校での説明会ではどのような意見が出たのか。

(事務局)

統合再編計画の、八郷地区の第2段階での大規模統合を最初に行ってはどうか。統合しても単学級にしかならない枠組みがある。プールの授業はどこで行うのか。中学校に上がる際には八郷中のある柿岡方面に向かうため、柿岡小との統合はどうか。こういった意見が挙がりました。

(参加者)

令和6年に統合というのは、確定しているのか。

(事務局)

現段階では確定という訳ではございません。保護者、地域などとの合意形成を図っていき、令和6年4月の統合を目標に進めてまいりたいと考えております。

(事務局)

先日行った、恋瀬小PTA役員の方々との意見交換会でのご意見を紹介します。瓦会小でも出ましたが、最初から1つの大きな学校にしてはどうか。複式学級は無くしたい。これから学校に入学する未就学世帯の保護者の方々の意見も尊重して欲しい。お互い母校を残したい気持ちはわかるが、そこに囚われていたら何も進まない。大切なのは子どもたちのこれからについてだ。このようなご意見をいただいております。

(参加者)

統合して廃校となった学校の管理はどのようになるのか。

(事務局)

統合後の学校の管理は課題となっております。市の統一した考え方として、まずは市の施設として利活用が図れないかを庁内で意見を募る。次に、公共・公益的な視点で専門学校などの社会教育施設などに使えないか。最後に、民間事業者などによる利活用といったところを利活用する方法として進めてまいりたいと考えております。

利活用が決定するまでの草刈りなどに対応については、現状として教育総務課が行っているところです。

(参加者)

旧八郷の自然に憧れて移住してきた者としては、統合によって学校が無くなっていくことがとても寂しい。小さい学校を大事にするということを石岡市のアピールにしていくの
はどうか。他自治体では、小規模特認校として小さいながらも魅力ある学校として存続して
いる学校もある。

(事務局)

石岡市としては、複式学級の解消を優先的に取り組んでおります。多くの人数の中で学ぶ
ことで、多様な意見に触れながら、協同的な学びや主体的で対話的で深い学びといったもの
が求められています。予測困難な未来を生きていく子どもたちには、自分たちで問題を解決
する力を身に付けることを狙いとしております。ただいま大変貴重なご意見をいただきました。
今後の参考などにさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

(事務局)

本日説明させていただいた計画などについては、一生変わらないといったものではござ
いません。一定の期間をもってみなさまの意見もいただいて、より良いものにしていきたく
と考えております。

市全体の課題として、人口減少に対する施策などにも取り組んでいきたいと思ってお
ります。貴重なご意見ありがとうございます。

(教育部長)

先日は瓦会小学校で説明会を行いました。統合される側と迎え入れる側とで立場も違
うことから、意見の中にも温度差があるようにも感じました。令和6年4月の統合を目指して
統合検討委員会及び専門部会などを立ち上げたいと思っております。その中で、校名や校歌、
体操服、スクールバスなど色々のことを話し合う必要が出てまいります。

石岡市の魅力発信にも力を入れていきたいということで、市の総合計画も作成している
ところです。自分の足で通える学校がなくなる寂しさは分かります。これから生きていく
子どもたちにとって、多くの意見や価値観に触れることが大事になってくると考えており、
そのためには適正規模といったものが必要になると感じています。

(教育長)

本日は基本計画などの説明をさせていただきました。みなさまから頂戴した数多くの貴
重なご意見を、今後の魅力ある学校づくりに役立ててまいりたいと思っております。

新しい学校作りへの議論は一定の期間を要するものとなりますが、継続的に協議を重ね
ていきながら、学校と保護者、地域住民、行政との合意形成を図っていくことが何より欠か
せないと思っております。今後は、魅力ある学校づくりについて、やって良かったと思える

ような学校再編を進めていければと考えております。

大規模校であっても、適正規模であっても、小規模校で活かされてきた良さが失われることがあってはいけません。これまで培ってきた特色ある教育や学校の文化などを統合再編に活かしていかなければならないと考えています。

統合再編によって生じる、跡地利用や学校の施設整備、子どもにとっての環境の変化への対応といった課題についても意見交換を積極的に行い、議論を重ねて行ければと思っております。